

梅窓院通信

青山

施餓鬼号

No. 106

2020/04/01

梅窓院墓苑内に咲く薔薇の花。

住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島 真成

いよいよオリン

ピック・パラリン

ピックが間近に

迫って参りました。

開閉会式をはじめ

多くの競技が新生

国立競技場で開催

されます。国内外

からの多くの観戦者で、ここ神宮外苑も溢れかえることが予想さ

れます。そうしたことから、オリンピック開会日からパラリンピック

閉会日までの期間は、梅窓院での法事はお受けしないことにな

せて頂きます。

誠に恐縮ですが、期間中に年忌法要を迎えられる方は、式場を

ご用意頂くか、または梅窓院での法要を前倒ししてお申し込み頂け

るよう、お願い申し上げます。なお、葬儀につきましてはその時の

様子をみながらとなりますが、お受けする予定でいます。

さて、二月に七回目となる梅林苑での樹木葬、納骨法要を行

いました。納骨四十霊に九十名を超す参列者の中、梅窓院僧侶総出

でお勤めさせて頂きました。

回を重ねるごとに多くなり、期間も半年から四か月、そして今

は三か月と短くなってきました。もともとお墓などがなく、手元

にお骨を置かれている方が増え始めていると聞いたことから、梅

窓院でもそうした方のお役に立てれば、と始めたのですが、予想

を超えています。樹木葬は新しい時代のお墓になりそうです。

梅窓院での法事をお受けできない期間のお知らせ

七月二十二日(水)～九月六日(日)

※右記のオリンピック開会日からパラリンピック閉会日

までは梅窓院での法事をお受けできませんので、ご理解

ご了承下さい。



お施餓鬼

五月十六日(土)

御説教

午後一時～

祖師堂

講師 長野 正念寺住職

おくでら こうじ
奥寺 浩司 上人

大施餓鬼会法要

午後二時～

祖師堂

- ・法要終了後にお塔婆をお渡し致します。
- ・場所の変更となる可能性があります。

せがき 施餓鬼によせて

新緑の美しい季節になりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

ところで、皆様は今、ツイッターで話題の「丁寧な暮らしをする餓鬼」さんをご存知でしょうか。

インド伝来の仏教には生まれ変わり(輪廻)の思想があり、生前に物惜しみなどをして、食べ物を施さなかった人は、餓鬼という食物を食べられず常に飢えた存在として生まれてしまうとされています。餓鬼の他、天(天人)、人(人間)、修羅(常に争う鬼神)、畜生(動物)地獄の六つの境界に生まれ変わることを六道輪廻といいます。

「丁寧な暮らしをする餓鬼」さんですが、去年開設されたアカウントながら、九万人を超えるフォロワーがいらつしやり、平安時代の餓鬼草紙風のイラストを使って、日常の出来事を投稿されています。餓鬼の世界と私達の世界を繋いでユーモアを交えて発信なさっており、ご紹介致しました。

さて、当院の大施餓鬼会が近づいて参りました。阿弥陀様の救いのみ光は、たとえ悪い世界に生まれてしまっても、必ず行き届き、その瞬間に苦しみから解放され、命が尽きた時には極楽へとお迎え頂けると説かれています。目に見えない亡者の霊と共に、先立つた方へ、手を合せてご一緒に念仏をお称え頂ければ幸いです。

(法務部/中島真紹)

合掌



「丁寧な暮らしをする餓鬼」
(TwitterアカウントID:@gaki_teinei)さんの餓鬼イラスト。

回向のお申込み方法と お知らせ

◆施餓鬼塔婆お申込み方法

御塔婆

御回向料 … 1本/1万円

- ・同封のハガキにご記入の上4月30日(木)必着でお申込み下さい。
- ・当日の法要に参加される方は、出席人数も合わせてご記入下さい。
- ・御回向料は、同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、受付までお持ち下さい。(銀行・コンビニでのお支払いはできません。)

施餓鬼コラム

六道輪廻の中の三悪道のひとつ、餓鬼道に落ちた餓鬼へ施しをする法要が施餓鬼会です。施しには見返りを期待しない純粹さが大切で、三輪清浄という言葉で、施す側、施される側、施される物の三つが清らかであることが論られています。

開山忌法要

六月十三日(土)

梅窓院を開かれた南龍上人のご供養と報恩謝徳の法要を執り行います。また、法要後に能楽を奉納します。なお、能楽からのご鑑賞は行っておりませんので、法要からのご参列をお願い申し上げます。また、法要と能楽ともに一般の方も参列、観賞ができます。入場無料ですので、御家族・お友達お誘い合わせの上お越し下さい。一昨年度より、法要前に写経を行うことになりました。詳しくは四面をご覧ください。

写経 — 午後一時四十五分 —

※事前にお申込みが必要です。

法要 — 午後三時 — 本堂

※法要終了後、休憩がございます。

能楽奉納 — 午後四時 — 祖師堂

演目 半能「橋弁慶」(予定)

能楽演者のプロフィール

橋本 忠樹 (はしもと ただき)



東京藝術大学音楽学部卒。重要無形文化財総合指定保持者。観世流シテ方橋本礒道長男。父及び故片山幽雪、片山九郎右衛門に師事。3歳で初舞台。大学在学時には、観世流26世宗家 観世清和、故藤波重満、野村四郎、各師に師事。若者に能楽の魅力を伝える新たな試みに挑戦し、他ジャンルとの共演、お寺・神社やバーでの能公演など、若者が気軽に能や日本の古典に触れられる機会を企画し公演を行っている。また、実際に謡・仕舞を教え伝える事にも熱心で、京都・東京での稽古活動の他、幼稚園・小学校等でワークショップを開き、幼少から日本の伝統文化である「能」に触れることによって「本物」を見極める目を養う機会を提供している。

(公社)能楽協会会員・(一社)日本能楽会会員
(公社)京都観世会会員・大正大学客員教授
京都市DO YOU KYOTO?大使

開山忌によせて

今年も開山忌が近づいて参りました。一昨年からのお試みで開山忌法要の前に、写経会をお勤めします。今年の題材は去年の善導大師御作の「発願文」に引き続き、同じく善導大師の「六時礼讃」の一部です。「六時礼讃」とは、一日を四時間ごとの六つに分けて、それぞれの決まった時刻にお勤めを行い、仏様に礼拝して、美しい節回しで仏様を讃え、あらゆるお仲間と共に阿弥陀様の極楽へお生まれすることを願う経文です。

現在、多くの寺院では朝夕にお勤めしておりますが、法然上人とそのお弟子様達は善導大師の教えに従って、一日を通して「六時礼讃」を厳修されました。

今回は午後四時から始まる「六時礼讃」の中でも最後、翌日の正午にお勤めする「日中礼讃」の一尊(阿弥陀様のこと)と呼ばれ

る部分を写経します。一尊の部分は「観無量寿経」という浄土宗の聖典の一節で阿弥陀様の金色に輝く山のようなご身体より放たれる救いの光明は遍く全世界を照らし、お念仏者を決して見捨てないと説かれるそのところを善導大師が仏様を讃える歌にされたのです。

ぜひこの「日中礼讃」の写経を通じて、より阿弥陀様とのご縁を深めて頂ければ幸いです。

合掌 (法務部/中島真紹)

開山忌コラム

開山忌はお寺を建立した僧侶への報恩感謝を表す法要で、梅窓院の開山は南龍上人、そして贈り開山を観智国師とされています。今秋の文化講演会のテーマはこの観智国師です。今年、開山忌と文化講演会、ぜひ合わせてお越し下さい。

二月の行事報告

第七十九回 念仏と法話の会 二月二十七日(木)

念仏と法話の会、中島住職と表彰者1名。

行事予定

はなまつり

4月4日(土)～8日(水)

寺院棟2階 本堂

寺院棟2階本堂エントランスに花御堂を、休憩所には甘茶をご用意しております。

施餓鬼会法要

5月16日(土)

※詳細は中面をご覧ください。

開山忌法要・能楽奉納

6月13日(土)

※詳細は中面をご覧ください。



昨年の能楽奉納の様子。

第80回 念仏と法話の会

6月16日(火)

法話:命は「夢の掣」の如し、

「最上の魂」を輝かせよう!!

講師:長野 正念寺住職 奥寺浩司^{おくでらこうじ}上人

※詳細はチラシをご覧ください。

お知らせ

<増上寺御忌大会中止>

4月2日(木)～7日(火)に予定されていた増上寺御忌大会が新型コロナウイルス拡散防止のため、中止となりました。

詠唱大会も中止となります。

発行/梅窓院
発行日/2020年4月1日
発行人/中島 真成
編集/青山文化村
住所/〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話/03-3404-8447
FAX/03-3404-8107
ホームページ/<https://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail/jodo@baisouin.or.jp
題字/中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡

写経 のご案内

仏教では、経を読めば功德を積むことができ、経を書き写すことでさらに功德があるとされています。そのため、写経は古くから徳を積むための修行として行われてきました。

事前説明がありますので、初めての方でもお気軽に写経を体験することができます。

是非この機会にお越し下さい。皆様のお越しを心からお待ちいたしております。



写経に集中する参加者。

開催日:令和2年6月13日(土)

時間:13時45分～

(受付開始13時15分)

写経:善導大師『日中礼讃』

奉納料:1名 1,000円(事前申込制)

※会場は参加人数により決定し、参加者にお知らせします。

※奉納料は当日、会場受付にてお納め下さい。
※筆ペンや写経用紙も用意してあります。

参加ご希望の方は、下記問い合わせ先へお電話・FAX・Eメールにて5月29日(金)までにお申込み下さい。

お問合せ・お申込み

梅窓院 青山文化村 〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38

TEL 03-3404-8588/FAX 03-3404-8436

E-mail/bunkamura@baisouin.or.jp

梅窓院のお墓とペット供養の窓口

ジャパンエキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

今(2月某日)羽田空港の新飛行ルートの実験飛行をしております。南風の時に港区上空を飛行するようです。米軍施設のヘリポートからのヘリコプターの音と比べたら静かですが、4分おきくらいに飛んでくるので今まではちょっと雰囲気が変わりました。青山通りでも空を見上げる方が多く、巷の話題にもあがっているようです。施餓鬼号をご覧になっている頃には正式運用になると聞いております。どのくらい飛ぶのでしょうか?

さて、新緑の季節になり気持ち良いのですが、雑草も気持ちよく伸びてきております。草むしりなどの作業も承っておりますので、お気軽にお問合せ下さい。今年の冬はヒヨドリが墓苑内を飛び廻り、お供えのお花を食べては糞をしますのでお墓が汚れてしまう被害が続出致しました。「飲食禁止・トイレ無し」の看板(立ててはいませんが)もヒヨドリには通用しません。対策としては来年になってしまいますが、良い方法をご存じの方は教えて下さい。

(墓苑部:森)

お檀家さんに伺いました

『令和初めての修正会を迎えて』

(令和2年修正会にて)

梅窓院の修正会には、お墓の初参りもあり毎年足を運んでいます。近年のバリアフリー化には感心しています。

また、檀家の協力を仰ぎ、古いお墓をきれいに整備、そしてペットのお墓や樹木葬など時代のニーズに応じた新しいお墓が作られているのも素晴らしいと思います。

落語や音楽コンサートなど積極的に行事を行い、地域や檀家とお寺の縁を結んでいるように思います。これからも頑張ってください。

【檀信徒の皆様へお願い】

檀信徒の皆様及び各取材先に関する個人情報・プライバシー保護のため、梅窓院通信『青山』を檀信徒以外の方にお渡しすること、誌面をインターネットへ掲載することはご遠慮頂きますようお願い申し上げます。